



救急救命法～5年生が体験！

9月9日は「救急の日」です。救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深める日とされています。本校の5年生が、まさにこの9月9日に、消防署の皆様から救急救命法の講義を受けました。保健に「けがの予防」という分野があり、子どもたちは班に分かれて貴重な指導を受けることができました。職員も水泳の授業開始前に毎年受けているが、胸骨圧迫の方法を子供たちも学びました。昔は「心臓マッサージ」と言っていましたが、今は「胸骨圧迫」と言います。強く、早く、絶え間なく押す、という指示を受け、一生懸命取り組んでいました。小さい頃から、ぜひ体験しておいたほうがいい学びであると思いました。隊員の皆様、お忙しい中誠にありがとうございました。



前途洋々



三角町小中連携授業研究会は豪雨で中止でしたが・・・

1・5年で研究授業を校内研として実施しました！

9月10日（水）は、三角町内3校の学校が本校に集い、1・5年の研究授業を見ていただく予定でした。しかしながら、当日は豪雨により、266号線が冠水。そのため、3校で集まることはできず、やむを得ず、本校のみで研究授業を実施しました。これまでお伝えしてきましたが、本校の研究は国語で実施しています。テーマは『『読むこと』を通して、主体的に伝え合う児童の育成～表現する場の工夫を通して～』です。研究の視点はいくつかありますが、考えの根拠となる部分を明確にして自らの主張を展開することもその一つ。事前から、職員で意見を交換し、担任の先生が授業を練り上げていかれました。私は5年生の授業を中心に参観したので、そのお話をします。5年で取り扱った単元は、宮沢賢治の「注文の多い料理店」。皆さんも何となくストーリーは覚えていらっしゃるのではないでしょうか。二人の若い、見栄張りの紳士が山奥に旅に出かけますが、そこで不思議な料理店に遭遇。腹ペここの二人はその料理店に入りますが、「つぼの中のクリームを顔や手足にすっかりぬってください」など奇妙な指示が次々と出てきます。最後に、料理されるのは自分たちだと気付き慌てて逃げ出す、というお話。この二人の紳士は、家に逃げ帰りましたが、紙くずによくなつた顔だけは元のとおりになりました。さて、それはなぜか。本文の叙述を元に自分の考えを持ち、他者と交流しました。感心したのは、子供たちは、人物についての考察をしっかりと行い、様々な意見を出してくれたこと。ペアでの交流の仕方も上手で、終始、相手に伝わるように話をすることができました。とても成長しています！この様子は、ぜひ他校の先生方にも見ていただきたいかったです。1年生も最後の方だけのぞかせてもらいましたが、今日の授業のために拾った貝殻を手に、自分の考えを堂々と伝える子供たちの姿がありました。みんな、よく頑張りました！



ペアでの伝え合いはどんどん上手になっています！

1年生は、登場人物のお面をつけてお話しします。



事後の研究会も、大変盛り上がりました！